



かがやき



旭川市立旭川小学校 学校だより 第3号 令和3年6月30日発行

コロナ禍でも変わらない大切なこと

旭川市立旭川小学校

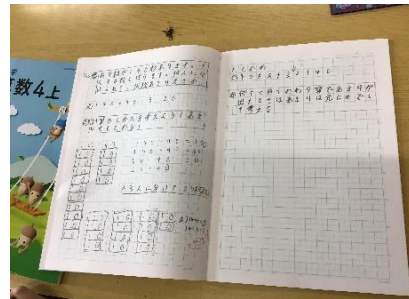
校長 高橋 健史

▼6月20日(日)に緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置が適用された道内。旭川市も7月11日(日)まではその経過区域となり、引き続きの感染対策が求められています。今後も、子どもたちの健康安全を最優先に教育活動を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。



iPadの良さは、たくさん
の知識にすぐ触れら
れること

▼さて、コロナ禍の中、学校教育も多くの変化を余儀なくされました。従前のやり方を見つめ直し、変更、縮小したこともあります。でも、あらためてその大切さを再認識したこともありました。例えば、ノートに書くという活動。書くためには時間を要しますが、記憶を促し



ていねいにまとめられたノート

たり、思考を深めたりするために大切な活動です。コロナ禍の中、一人1台ずつ貸与されたiPadを使うと、板書を一瞬で保存できますが、学びの定着や理解

という点では疑問が残ります。以前、「iPadが導入されると、ノートがいなくなるのですか？」という質問を受けたことがあります。iPadの導入でノートの良さが再認識されたとともに、iPadとの使い分けが進みました。

▼更に、あいさつも、よりその重要度が増しているのを感じます。コロナによって社会全体が不安になり、リモートによる人間関係の希薄さが危惧される中、あいさつによる



心のこもった朝のあい
さつは気持ちがあ
たたかくなります

人と人とのつながりは、とても大切だと考えます。学校は1つの「社会」ですから、豊かな人間関係が育まれることで、どの子にとっても安心な場となります。「学校いじめ防止基本方針児童版」に、いじめをなくすための取組の1つとして、あいさつが掲載されているのはそのためです。

▼コロナは教育現場にも多くの変化をもたらしました。しかしながら、あらためてその価値を再認識した、「変わらない大切なこと」もたくさんありました。未来を背負う子どもたちの学びにとって何が大切かを常に問い直しながら、今後も教育活動を進めて参りたいと思います。



整った文字を書く
ためにも大切なよ
い姿勢

小中合同避難訓練を実施しました

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施することができませんでした、小中合同避難訓練を、小学校校舎機械室から出火したとの想定で行いました。

おさない



はしらない



子どもたちへの事前指導をしっかりと行い、短時間に、安全に避難するよう努めました。

子どもたちは、会話をせずに、きびきびと避難する中学生の姿に刺激を受け、緊張感もちながら行動することができました。

しゃべらない



令和3年に入り、旭川市では、既に50件近くの火災が発生しているそうです。2学期にも避難訓練を予定し、これからも、「もしも

もどらない



のとき」に、自分で考え、判断し、行動できる子どもたちを育てていきます。



プール学習が始まりました

緊急事態宣言の解除後、6月22日（火）からプール学習が始まりました。密を避けるため、更衣室を使わずに特別教室で着替えをしたり、マスクを外しての学習となるため、会話をしないで学習することを徹底したりするなど、感染対策を講じながら学習をしています。本年度は、放課後、土日の学校プール開放は中止となりましたので、プール学習で大いに水の感触を楽しんでほしいと思います。

7月の予定

- 1日（木）交通安全街頭指導 安全点検日
内科検診（1・5年・2年1組）
 - 2日（金）クラブ
 - 5日（月）分散参観日1・3・5年A
 - 6日（火）分散参観日1・3・5年B
 - 7日（水）分散参観日2・4・6年A
 - 8日（木）分散参観日2・4・6年B
学校諸費引落日③
 - 9日（金）宿泊学習結団式 防犯教室2・4年
 - 12日（月）宿泊学習1日目
 - 13日（火）宿泊学習2日目
 - 14日（水）宿泊学習回復休業日5年
 - 15日（木）内科検診（3・4年、2年2組）
 - 16日（金）チャレンジテスト クラブ
 - 19日（月）委員会活動
 - 20日（火）1学期終業式
 - 21日（水）夏季休業 ～8月19日まで
- *今後予定が変更される場合がありますのでご了承ください。

開 校 130 周 年

130年間受け継がれている校章を紹介します。



は旭（昇る朝日）を表す

は小学校の小と剛健を表す

は母なる川を表す

このような、想いが現れていたのですね。

学校 HP では、随時情報を更新しておりますので、こちら QR コードからどうぞご覧ください。

